

京 都 大 学

医療技術短期大学部紀要

第9号

1989年

目 次

原 著

- 川井 浩, 大橋 ミツ, 近田 敬子, 福崎 哲, 田畑 勝好,
森永 敏博, 木村 信子, 菅沼美奈子: 国立大学医療技術
短期大学部における教育と研究の調査研究…………… 1
- 中村 定男: プラズマ生成期における電子密度及び分散量の増大……………13
- 武田 功, 鈴木 俊明: Biodex machine を用いた膝屈伸筋の筋出力
について……………22
- 足利 善男, 石川 俊紀, 火箱 保之, 増田 洋, 川井 浩: 選択
反応時間のトレーニング効果について……………28
- 梶原 香里, 小西 紀一, 松本 雅彦: 精神科 OT クリニックの
臨床的意義について……………37
- 石井 誠士: 人間の現在
—哲学的省察—(承前, 五)……………47

抄 録

- 第三回京都大学医療技術短期大学部健康科学集談会……………61

- 投稿規定……………66

編集後記

投 稿 規 定 (平成元年9月20日改定)

投 稿：投稿論文は、総説、原著、短報などとし、本短期大学部教職員（元教職員を含む）が著者、または共著者であるものに限る。

論文の受付：原稿（表紙、本文、図、表など）はコピー2部を添え（計3部）、当該年度の6月30日までに、編集委員会に届ける。編集委員会に届けられた日をもって受付日とする。編集委員会は、割付けおよび全体としての統一などをはかるために、著者に対し表現方法その他の変更、削除などを求めることがある。

原稿の書き方：原稿は、次の規定に従って書かれたものであること。

1. 表紙（原稿第一枚目）の前半には表題、著者名、所属およびその所在地、ランニング・タイトルをこの順に従って書く。なお、外国語原稿の場合は、上記各項の日本語を併記する。

後半には原稿の枚数、図、表の数、別刷希望部数を書く。筆者の所属の表記は、筆頭者は無記号、共著者の所属が異なる場合はその著者名の右肩およびその所属名の冒頭に*、**……印をつける。

2. 原稿には、英文の表題、著者名、所属、抄録（20行、または200 words程度）およびKey words（8語以内）をつける。著者名の姓は、大文字で表記する。
3. 欧文原稿および英文抄録は、必ずダブル・スペースでタイプする。また、当該国人が読んで、正確、明快に理解できるものでなければならない。

和文原稿は原則として、常用漢字、ひらがな、現代かなづかいを用い、B5版の400字詰横書き（論文の内容上とくに必要な場合は縦書き）原稿用紙に清書する。ワープロ使用の場合も、400字詰とする。外国語固有名詞（人名など）は原語を、一般に日本語化された外国語は、片かなを用いる。度量衡は、CGS単位とする。

4. 論文の項目の区分は、原則として下記の例に従う。

大項目……無記号で下線をつけ、前を一行あける。原著論文の緒言 (Introduction)、材料 (Materials)、方法 (Methods)、結果 (Results)、考察 (Discussion) などが相当する。

小項目……以下の順で使用する。

1., 2. ……行の第1字目に記す。

1), 2) ……行の第2字目に記す。

5. 図 (Figure) および表 (Table) には、それぞれ別の通し番号をつける。図版 (Plate) や写真（原則として白黒）は、図として取り扱う。

図はなるべく原寸大とし、明瞭でそのまま印刷できるものとする。図版は(14×20 cm)以内にまとめる。図は台紙(20×26 cm以下)に貼り、さらに薄紙のカバーをつける。カバーには筆頭者名、ランニング・タイトル、図の通し番号を記入する。

図・表の説明文は、まとめて原稿の末尾につけ、原稿本文中の欄外余白部に、図、表の挿入位置を朱記し明示する。

6. 謝辞は、本文の末尾に入れる。
7. 文献は、下記の要領に従い、引用順に配列し、本文の末尾に一括記載する。外国語文献は必ずタイプする。

本文中の文献引用箇所には著者名や引用文などの右肩に、その文献番号を¹⁾, ^{1,3,6)}, ²⁻⁵⁾のように記す。

雑誌の場合

著者名（6名以下の場合は全著者名、7名以上の場合は最初の3名を記し、“他”または“et al”をつける）、表題、掲載誌名、発行年（西暦）、巻数（必要であれば号数）、頁数（始一終）の順に記す。雑誌略名は、日本医学雑誌略名表（日本医学図書館協会編）およびIndex Medicusに従う。

<例>

- 1) Sakaguchi K, Jameson EW: Two new fleas from Japan. J Med Zool 1959; 10: 156-162
- 2) 菅沼美奈子, 内山和美, 三井政子: 性周期記録表の試み. 母性衛生 1978; 19: 76-82

単行本の場合

著者名(雑誌の場合と同様), 表題, 編者名, 書名, 版数, 発行地, 発行所, 発行年(西暦), 引用頁(始-終)または(1~終頁)の順に記す。なお著者と編者が同一の場合には, 著者名, 書名の順とする。

<例>

- 1) Wintrobe MM: Clinical Hematology: The erythrocyte. 7th ed. Philadelphia, Lea and Febiger, 1974: 80-220
- 2) Schwarts TW, Tager HS: Biosynthesis of pancreatic polypeptide. In: Bloom SR, Polak JM, eds. Gut Hormones. 2nd ed. Edinburgh, London, Melbourne, New York: Churchill Livingstone, 1981: 202-205
- 3) 富田 仁: 救急時検査の手技と解釈, ア

ミラーゼ.

- 富田 仁, 熊谷直家, 内田耕太郎編. 検査診断マニュアル. 第1版. 東京: メヂカルフレンド社, 1978:96-99
- 4) 城戸幡太郎: 文化心理学の探求. 東京: 国土社, 1970:1~390
 - 5) Pedretti LW: 身体障害の作業療法(小川恵子, 山口昇, 青木真由美訳). 東京: 協同医書出版社, 1985: 103-115

原稿の枚数: 原著論文, 総説は原則として図, 表などを含め刷り上り10頁以内, 短報などは同じく4頁以内, 学会・研究会の抄録などは同じく半頁以内とする。なお, 本誌1頁は, 400字詰原稿用紙約4枚分に相当する。図は手札大(9×13cm)が原稿用紙約2枚分に相当する。

校 正: 著者による校正は, 再校までとし, 校正時における内容の変更や追加は認めない。

印 刷 費: 原画の描画を外部に依頼するときや, カラー写真印刷を希望するときなどは, その経費は著者の負担とする。

別 刷: 別刷は50部を単位とし, 50部をこえる分の経費は原則として著者の負担とする。

編集後記

昭和から平成へと改元の年を迎え、本年は新しい時代の出発にあたり身も心も自然にひきしまる思いがする。

平成元年度発行の紀要第9号をおもてにお届けする。本号には原著6編とともに第3回健康科学集談会の抄録を掲載した。これらの論文は著者が推敲を重ねて鋭意作成され、自信をもって投稿された力作である。しかし、中には論文に一般的に要求される独創性、簡潔性、明瞭性のうち後二者がややなおざりになっているのではないかと考えさせられるものがある。専門外の研究者が論文を通じてその著者の研究分野をよく理解する手助けとなるように、簡潔、明瞭に仕上げるようお願いする。

最近の時代の趨勢に従い、投稿規定を見直し一部簡略化して改訂した。今後この規定を遵守願いたい。

本紀要が理系・文系・社会系と幅広い人材を擁する本短期大学部の学術誌として、今後益々発展することを期待し、次号へ向けて多数の投稿を歓迎する。

1989年9月

紀要編集委員長	内田耕太郎		
編集委員	福崎哲	加茂映子	
	川崎伸子	神原啓文	
	木村信子	小西昭	
	松本雅彦	三井政子	
	野村巖	岡田敬司	
	武田功	(ABC順)	

京都大学医療技術短期大学部紀要 第9号

Annual Reports of the College of Medical
Technology, Kyoto University No. 9

平成元年11月25日印刷・発行

印刷 中西印刷株式会社
京都市上京区下立売通小川東入
発行 京都大学医療技術短期大学部
京都市左京区聖護院川原町53

ANNUAL REPORTS
OF
THE COLLEGE OF MEDICAL TECHNOLOGY,
KYOTO UNIVERSITY

No. 9

1989

CONTENTS

Originals

- Kawai, H., Ohashi, M., Chikata, K., Fukuzaki, S., Tabata, M., Morinaga, T.,
Kimura, N. and Suganuma, M.: A Report of Education and Research of
National College of Medical Technology 1
- Nakamura, S.: The Increases of Electron Density and Its Variance in
Plasma Production13
- Takeda, I. and Suzuki, T.: Power Output of Extensor and Flexor Muscles
of the Knee on Biodex Machine Exercise.....22
- Ashikaga, Y., Ishikawa, T., Hibako, Y., Masuda, H., Kawai, H.: Effects
of Dexterity Training on the Selective Response Time.....28
- Kajiwara, K., Konishi, N. and Matsumoto, M.: The Clinical Importance
of a Psychiatric Occupational Therapy Clinic.....37
- Ishii, S.: The Presence of Human Being-Philosophical Meditation-
(continued, Part 5)47

Abstracts

- The 3rd Health Science Meeting in the College of Medical Technology,
Kyoto University61

Instructions to Authors.....66

Editorial Notes

Ann. Rep.
Col. Med. Tech.,
Kyoto Univ.

ISSN
0286 - 7850